

メディアドクター@MIS35 :

医療報道をどう読むかー情報の受け手と伝え手の視点を考えるー

メディアドクター指標を用いた記事評価ワークショップ
「情報源としてのプレスリリース：臨床研究の結果をどう伝えるか」

佐藤正恵¹⁾²⁾，渡邊清高¹⁾³⁾，北澤京子¹⁾⁴⁾

1)メディアドクター研究会，2)千葉県済生会習志野病院図書室，

3)帝京大学医学部腫瘍内科，4)京都薬科大学

media doctor
Media Doctor Research

"improving the accuracy of medical news reporting"

- メディアドクター研究会とは、医療に関するメディア報道のあり方を勉強する会です。新聞報道の医学関係記事を中心に、米国、オーストラリア、カナダ、香港などで用いられている指標を用いて検証します。メディアドクター研究会は定例会を開催し、医療者、ジャーナリスト、政策立案者、図書館司書、患者・市民等の連携により、医療・保健情報の評価を通じて、患者・市民にとって有益な情報に関する共通認識を形成し、その質を向上させることを目的としています。最近では、日本独自の簡易指標作成により、中高等学校生徒向けの授業や患者・市民向けのセミナーでも活用が始まっています。
- 昨年の MIS34@関西の参加者企画では、100人を超える方々にご参加いただきました。活発なディスカッションが生まれ、継続して東京で開催している定例会にご参加下さる方も増えています。
- 今回のテーマは、「情報源としてのプレスリリース：臨床研究の結果をどう伝えるか」まず、参加者全員で新聞記事をメディアドクター指標に沿って評価し、その元になったプレスリリース、さらにその根拠となる論文を辿って、小グループでのディスカッションを行います。情報源の扱いかた、一次資料へのアクセスの重要性等について、参加者のおひとりおひとりが考える機会となれば幸いです。

*プログラムなど、詳細はメディアドクター研究会ウェブサイトをご参照ください。

<http://mediadoctor.jp/>

=====
*記事許諾、会場準備の都合上、定員を先着申込順で40名までとさせていただきます。

参加希望者は、7/31までにメディアドクター研究会へお申込みください。

席に余裕がある場合のみ、当日も受け付けます。

*申込み Web フォーム：<https://ssl.formman.com/t/xat3/>

参加には、1) 第35回医学情報サービス研究大会 <http://mis.umin.jp/35/>

と、2) 上記フォームの両方への事前申し込みが必要です。



=====